

令和元年度 決算と  
令和2年度 上半期

令和元年度（2019年度）の決算の状況および令和2年度（2020年度）の9月30日現在の予算額の執行状況について公表します。この財政事情は町民の皆さまに町財政の状況をお知らせし、その実態についてご理解をいただくためのものです。

# 有田川町の 財政事情

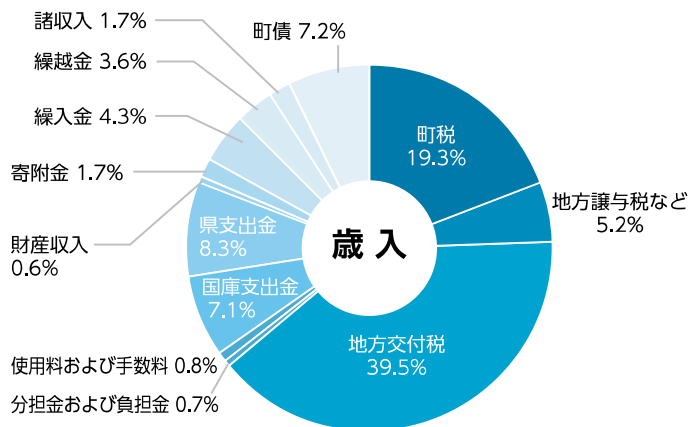
## 令和元年度 各会計の決算状況

会計区分	収入済額 ①	支出済額 ②	差引 ③ = ①-②	翌年度へ 繰り越すべき財 源 ④	実質収支額 ③-④	令和元年度末 地方債残高
一般会計	162億4,442万円	157億8,643万円	4億5,799万円	9,321万円	3億6,478万円	175億1,953万円
国民健康保険事業特別会計	36億2,541万円	36億1,534万円	1,007万円	0円	1,007万円	0円
介護保険事業特別会計	31億9,824万円	31億766万円	9,057万円	0円	9,057万円	0円
後期高齢者医療特別会計	7億4,240万円	7億3,336万円	904万円	0円	904万円	0円
簡易水道事業特別会計	6億1,469万円	6億1,335万円	134万円	114万円	20万円	24億975万円
農業集落排水事業特別会計	2億7,444万円	2億7,444万円	0円	0円	0円	12億2,800万円
簡易排水事業特別会計	205万円	205万円	0円	0円	0円	404万円
浄化槽事業特別会計	754万円	754万円	0円	0円	0円	2,546万円
かなや明恵峡温泉特別会計	6,629万円	6,629万円	0円	0円	0円	0円
特別養護老人ホーム等事業特別会計	3,431万円	1,557万円	1,875万円	1,875万円	0円	0円
公共下水道事業特別会計	19億3,615万円	19億3,615万円	0円	0円	0円	91億5,034万円
岩倉財産区管理会特別会計	0円	0円	0円	0円	0円	0円
粟生財産区管理会特別会計	39万円	0円	39万円	0円	39万円	0円
城山山林財産区管理会特別会計	190万円	0円	190万円	0円	190万円	0円
八幡山林財産区管理会特別会計	85万円	71万円	14万円	0円	14万円	0円
安諦山林財産区管理会特別会計	8万円	0円	8万円	0円	8万円	0円
合計	267億4,917万円	261億5,889万円	5億9,027万円	1億1,310万円	4億7,717万円	303億3,712万円

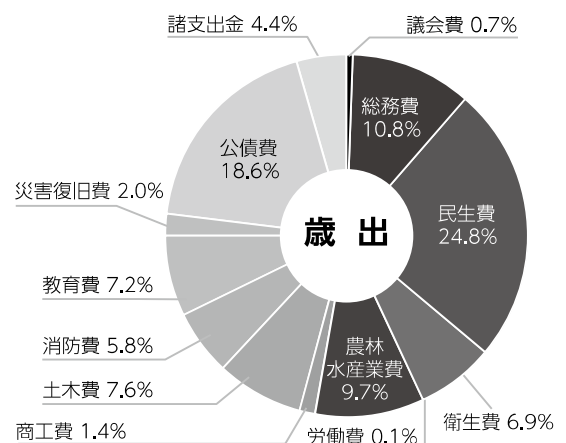
※前年度からの繰越事業分も含まれています。また、端数処理のため合計欄等の数値が一致しない場合があります（以降の表についても同じ）。

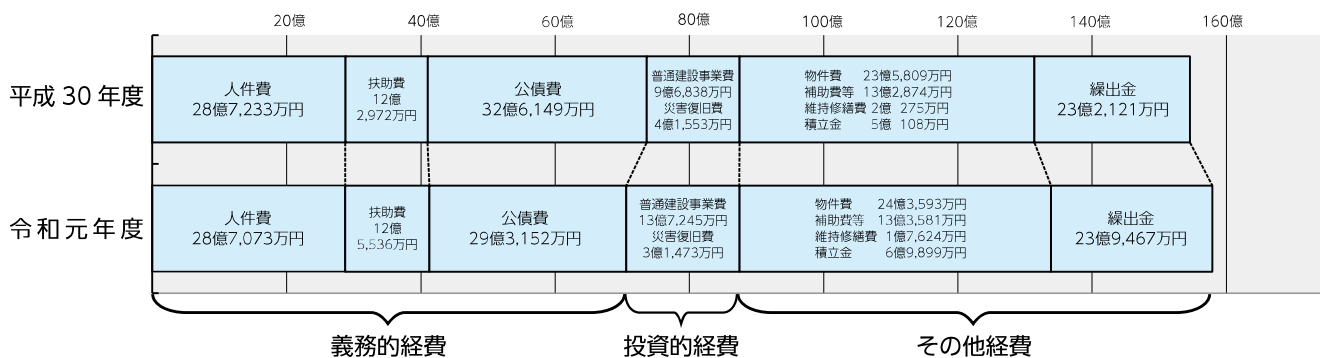
## 令和元年度 一般会計の決算状況

収入 162 億 4,442 万円



支出 157 億 8,643 万円





## 令和元年度決算の概要

### 歳入

前年度と比べて2億240万円の増額となりました。項目別で増額・減額となった主なものは次のとおりです。

- 増額
  - ・ 地方譲与税など
  - ・ 地方特例交付金など各種交付金の増
  - ・ 町税
  - ・ 固定資産税や町民税等の増

### 減額

- 地方交付税
- ・ 普通交付税の減（合併算定替特例措置の段階的縮減によるもの）

### 繰入金

- ・ 繰上償還するための減債基金繰入金の減
- ・ 退職手当負担基金繰入金や公共用地取得基金繰入金等の減

### 歳出

前年度と比べて3億2712万円の増額となりました。項目別で増額・減額となった主なものは次のとおりです。

### 増額

- 消防費
- ・ 防災行政無線デジタル化改修事業（平成30年度繰越事業）による増
- ・ 普通建設事業費
- ・ 近未来型拠点交流施設整備事業および鳥屋城小学校プール改築事業による増

### 減額

- 公債費
- ・ 繰上償還額の減および発行額抑制の影響による減
- ・ 災害復旧費
- ・ 平成30年度の台風21号のような大規模災害が発生しなかったことによる減

### 目的税等の使途の明確化について

- ・ 入湯税については、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設および消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する費用に充てる目的税であることから、観光振興基金へ積み立てています。
- ・ 地方消費税交付金の社会保障財源化分については、老人福祉費および障害者福祉費へ充当しています。

### 一般会計決算額を 町民1人あたりに換算すると…

1人あたりの町税負担額は  
**11万9,134円（前年比5.4%増）**

1人あたりの町債残高は  
**66万7,360円（前年比7.6%減）**

※人口（令和2年3月末現在）2万6,252人

### 用語解説

● **一般会計・特別会計**／さまざまな事業に対応するため、収支が複雑化しないように財布を分けています。一般会計は行政運営の基本的な経費を網羅して計上した会計であり、特別会計以外の全ての経費は一般会計で処理しています。一方、特別会計とは、一般会計に対し、特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して処理するための会計です。

● **実質収支額**／形式収支（各会計年度における歳入総額から歳出総額を単純に差し引いた額）から、翌年度への繰り越すべき財源を差し引いた額。

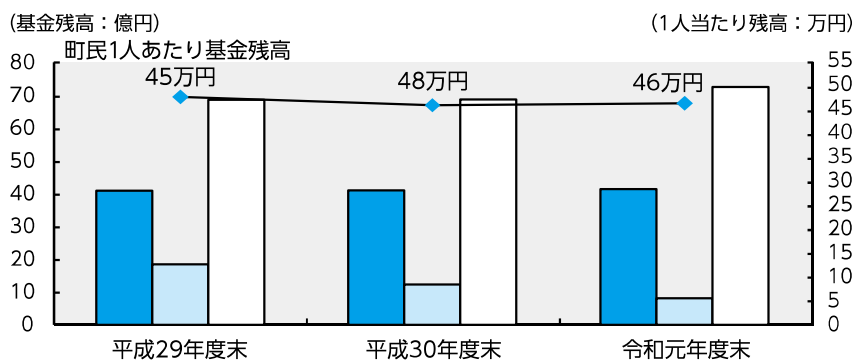
● **町債**／特定の歳出に充てるため、町が年度を超えて元利を償還する借入金のこと。

# 令和元年度 公営企業会計の決算状況

※税込み

水道事業会計	収入済額	支出済額	差引	令和元年度末地方債残高
1. 収益的収支	4億9,236万円	3億7,667万円	1億1,569万円	5億1,406万円
2. 資本的収支	2億6,153万円	3億7,294万円	▲1億1,141万円	

## 基金残高の状況

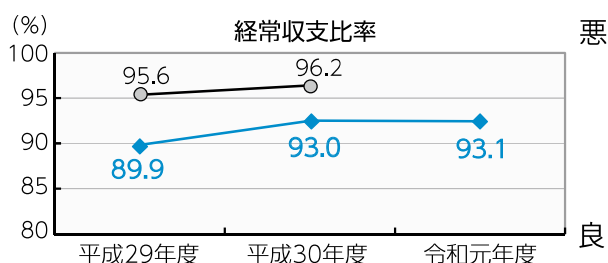


基金種別	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末
財政調整基金	40億8,220万円	40億9,524万円	41億3,063万円
減債基金	18億4,647万円	12億2,092万円	8億1,448万円
其他目的基金	68億5,733万円	68億6,043万円	72億3,812万円
合計	127億8,600万円	121億7,659万円	121億8,323万円

令和元年度において、主に積み立てたものとしては、ふるさと応援基金へ2億7,498万円、公共施設整備基金へ1億9,055万円です。

また、地方債の繰上償還を実施するために減債基金から4億1,700万円を取り崩し、其他目的基金から取り崩したものとしては、合併地域振興基金の1億2,022万円が主なものです。

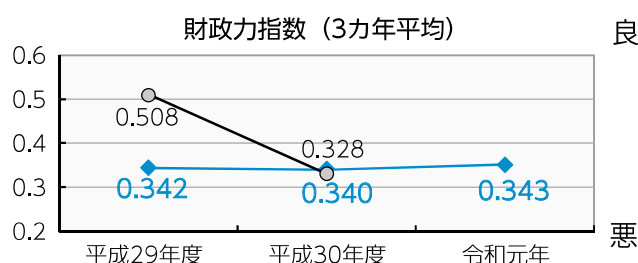
## 主な財政指標



### ○經常収支比率について

当比率は、人件費・扶助費・公債費などの経常的な経費に充当された一般財源の額が、地方税や普通交付税などの一般財源の合計に占める割合を表し、比率が低いほど財政構造に余裕があると言われています。

令和元年度の比率については、前年度に比べ0.1ポイント増加しました。



### ○財政力指数について

地方交付税にどれだけ頼らずに財政運営をしているかを表し、指数が1.0に近いほど財源に余裕があると言われています。令和元年度の指数は0.343となっており、一般財源の多くを地方交付税等で賄っている状況です。

※各指標に係る、令和元年度の県内市町村平均値は公表されておりません。

◆ 有田川町    ○ 県内市町村平均

### 用語解説

**水道事業**／上水道事業は「企業会計」です。収益的収支とは、水道料金を主な財源とし、施設の維持管理や借入金利息返済を行います。資本的収支とは、借入金などを主な財源とし、施設の建設や借入金元金返済などを行います。

**基金**／特定の目的のために、維持あるいは積み立てられる資金または財

産。財政調整基金は、地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するために設けられる基金のことで、減債基金は、地方債の償還（返済）を年度を越えて計画的に行うために設けられる基金のことで。

**一時借入金**／一時的な現金の不足を補うために借り入れる資金。

## 一般会計予算の執行状況

歳入科目	予算額	収入済額
1 町税	28億7,647万円	21億5,602万円
2 地方譲与税	2億1,168万円	7,463万円
3 利子割交付金	500万円	155万円
4 配当割交付金	1,400万円	448万円
5 株式譲渡所得割交付金	1,000万円	0円
6 法人事業税交付金	1,430万円	941万円
7 地方消費税交付金	5億1,500万円	3億759万円
8 ゴルフ場利用税交付金	2,600万円	901万円
9 環境性能割交付金	1,890万円	346万円
10 地方特例交付金	2,450万円	3,092万円
11 地方交付税	61億3,000万円	43億7,753万円
12 交通安全対策特別交付金	220万円	131万円
13 分担金及び負担金	8,520万円	2,241万円
14 使用料及び手数料	1億3,282万円	4,160万円
15 国庫支出金	45億8,470万円	31億1,587万円
16 県支出金	13億5,486万円	1億2,611万円
17 財産収入	4,099万円	1,726万円
18 寄附金	2億4,110万円	9,060万円
19 繰入金	19億5,942万円	0円
20 繰越金	2億3,614万円	4億5,799万円
21 諸収入	2億3,181万円	7,898万円
22 町債	30億6,310万円	190万円
合計	217億7,819万円	109億2,862万円

歳出科目	予算額	支出済額
1 議会費	1億782万円	5,561万円
2 総務費	51億9,743万円	34億3,858万円
3 民生費	46億2,526万円	14億897万円
4 衛生費	13億4,230万円	4億5,757万円
5 労働費	1,061万円	183万円
6 農林水産業費	15億5,947万円	3億1,844万円
7 商工費	8億1,641万円	3億3,712万円
8 土木費	16億9,660万円	2億6,901万円
9 消防費	16億7,578万円	3億3,214万円
10 教育費	14億4,277万円	4億9,234万円
11 災害復旧費	3億565万円	1,626万円
12 公債費	25億2,060万円	11億9,273万円
13 諸支出金	4億3,469万円	1,092万円
14 予備費	4,280万円	0円
合計	161億298万円	46億1,036万円

## 特別会計予算の執行状況

会計区分	予算額	収入・支出済額
国民健康保険事業	35億929万円	収入済額 17億761万円
		支出済額 15億1,578万円
後期高齢者医療	7億7,891万円	収入済額 1億1,447万円
		支出済額 2億7,357万円
介護保険事業	32億9,750万円	収入済額 13億5,074万円
		支出済額 12億6,360万円
簡易水道事業	5億6,644万円	収入済額 6,923万円
		支出済額 2億4,231万円
農業集落排水事業	3億1,593万円	収入済額 2,596万円
		支出済額 1億2,600万円
簡易排水事業	210万円	収入済額 36万円
		支出済額 113万円
浄化槽事業	668万円	収入済額 194万円
		支出済額 151万円
かなや明恵峡温泉	7,448万円	収入済額 1,521万円
		支出済額 3,670万円
特別養護老人ホーム等事業	2,573万円	収入済額 1,890万円
		支出済額 2,244万円
公共下水道事業	20億7,107万円	収入済額 1億3,060万円
		支出済額 6億9,794万円
岩倉財産区管理会	6万円	収入済額 0円
		支出済額 0円
粟生財産区管理会	39万円	収入済額 39万円
		支出済額 0円
城山山林財産区管理会	193万円	収入済額 193万円
		支出済額 0円
八幡山林財産区管理会	83万円	収入済額 19万円
		支出済額 0円
安諦山林財産区管理会	11万円	収入済額 8万円
		支出済額 0円
合計	106億5,146万円	収入済額 34億3,761万円 支出済額 41億8,099万円

## 公営企業会計予算の執行状況

	歳 入		歳 出	
	予算額	収入済額	予算額	支出済額
1. 収 益 的 収 支	4億7,862万円	1億9,027万円	4億3,210万円	8,145万円
2. 資 本 的 収 支	3億3,710万円	160万円	5億887万円	2,182万円

## 町債および一時借入金の状況

会計区分	現在高
一般会計	163億8,957万円
簡易水道事業特別会計	22億8,357万円
農業集落排水事業特別会計	11億6,458万円
簡易排水事業特別会計	376万円
浄化槽事業特別会計	2,479万円
公共下水道事業特別会計	88億9,352万円
水道事業会計	5億3,207万円
合計	308億2,227万円
一時借入金 (一般会計および特別会計)	0円

## 基金の状況

区 分	現在高
財政調整基金	41億4,006万円
減債基金	8億1,448万円
その他特定目的基金	72億3,954万円
合計	121億9,408万円

### 一般会計決算額を 町民1人あたりに換算すると…

1人当たりの町税負担額は **10万9,940円**  
 1人あたりに使われるお金 (繰り越し含む) **83万2,372円**  
 1人当たりの町債残高は **62万6,417円**

※人口 (令和2年9月末現在) 2万6,164人